保　証　書

機種名	VC-410

お買いあげ年月日　　年　月　日	販売店名/住所/TEL
ご氏名	
ご住所	印
電話番号　（　　）	

1年間保証 お買い求めの販売店でご購入の年月日と販売店名を記入してもらってください。

お客様へ

この度はVC-410をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。本保証書は下記の条件に従い、上記製品に対する保証サービスをご提供申し上げるものです。記入事項に記載のない保証書は無効となりますので、記入の有無をご確認の上、漏れの事項がありましたら、直ちにお買い上げの販売店にお申し付けください。本保証書は、再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

販売店様へ

本保証書は、所定事項を記入して効力を発揮するものです。必ず、お買上日・貴販売店名・ご住所電話番号をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。

保証規定

正常なご使用状態のもとで保証期間内に万が一故障した場合は、保証規定にしたがって無料にて故障の修理をさせていただきます。保証期間はお買い求めになった日より1年間です。次のような場合には、保証期間内でも有償修理となります。

a.本製品の説明書に記載された使用方法および注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障・損傷の場合。
b.お買い上げ後の輸送や振動、落下、衝撃などお取り扱いが不適当なため生じた故障・損傷の場合。
c.火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧や指定外の電源使用等などにより生じた故障・損傷の場合。
d.接続している他の機器、その他外部要因に起因して生じた故障・損傷の場合。
e.不適当な改造、調整、部品交換などをされたことにより生じた故障・損傷の場合。
f.本保証書のご提示がない場合。
g.本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられている場合。
h.本保証書に販売店印のない場合。

本製品の故障・損傷、またはその使用中に生じた直接または間接の損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、アフターサービスなどについてご不明の場合はお買い上げの販売店またはサービス実施店へお問い合わせください。

- ●本製品は日本国内での使用を前提とするもので海外ではご使用になれません。
- ●本製品は緊急事態等を未然に防ぐ装置ではありません。
- ●本製品の故障、通信の不具合などによって発生した損害について当社は一切の責任を負いませんので了承ください。

コロナ電業株式会社 http://www.corona-dengyo.co.jp
〒115-0045 東京都北区赤羽1-64-11 TEL.03(3903)9711 FAX.03(3903)9710

デジタルボイスレコーダー
DIGITAL VOICE RECORDER

VC-410

取扱説明書

取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、本書は保存いただき、必要なときにお読みください。

■ 安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになって、正しく安全にお使いください。

また、お読みになった後は、いつでも見られるように必ず手元に保管ください。

あなたと他の人々への危害や財産への損害を防ぐために、必ずお守りください。

※ご注意
本機の誤動作等の原因での録音メッセージの消失や、無録音などにより発生した損害等の付随的補償については、当社は一切その責任を負いかねますので、予めご了承ください。

⚠警告

電池について

◎ ＋と－は正しく入れてください。
◎ 長時間使用しないときは、取り出してください。
◎ 乾電池は充電しないでください。
◎ 新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使用しないでください。
◎ 加熱・分解したり、水・火の中に入れたりしないでください。
◎ ネックレスなどの金属物と一緒にしないでください。
◎ 被覆のはがれた電池は使わないでください。
◎ 取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより、火災や周囲汚損の原因となります。
◎ 万が一液漏れが発生したら、販売店へご相談ください。
◎ 液が体についたときは、水でよく洗い流してください。
◎ 乳幼児・子供の手の届くところに置かないでください。

■ 安全に正しくお使いいただくために

本機について

◎分解・改造しないでください。
◎機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや感電、火災の原因となります。
◎点検や修理は、販売店へご依頼ください。
◎自動車やバイク、自転車などの運転中は使用しないでください。
◎周囲の音が聞こえにくく、交通事故の原因となります。
◎歩行中でも周囲の交通にご注意ください。
◎温度が異常に高くなるようなところへ置かないでください。
◎機器の表面や部品が劣化したり、火災の原因となる可能性があります。
◎夏の閉めきった自動車内や、直射日光の当たるところ、ストーブの付近では、特に注意してください。
◎磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。
◎スピーカーの磁気の影響により、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく動かなくなることがあります。
◎音量を上げすぎないでください。
◎耳を刺激するような大音量で長時間続けて聞くと、聴力に影響を与えることがあります。
◎乳児・子供の手の届くところに置かないでください。
◎航空機内や病院など電気機器の使用を禁止された場所では使用を電子機器や医療機器へ影響を与えることがあります。
◎水に濡らさないでください。
◎本製品の不具合により録音ができなかった場合、および録音内容が破損または消去されていた場合、録音内容の補償についてはご容赦ください。
◎本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
予めご了承願います。
◎録りなおしのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りを行ってください。

バックアップのおすすめ

◎万一の誤消去や本機の故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備としてテープレコーダーなどに録音してください。

R5605

■ 目次

■ 機能の説明

1. 主な機能

録音機能

① 録音品質設定
（HQ：高音質録音モード、SP：標準録音モード、LQ：長時間録音モード）

② VOS設定（自動音声録音、音声が生じた時だけ録音を行う）

③ SCOPE設定（マイク感度の切換え）

④ タイマー予約録音時刻の設定

⑤ 録音中にメッセージ番号の付加

再生機能

① 標準再生

② バックグラウンドノイズを減少させて再生

時刻設定

① 時刻（24時間表示）

② 時間,分表示
アラーム設定録音開始前にアラーム時刻をセットしておくとその時刻に録音を停止することができます。予約録音の場合にも有効です。
(録音可能時間については、録音時間の残量表示の項をご参照ください)

2. その他の機能

消去

① 1度に1つのメッセージ単位での削除

② 1度にすべてのメッセージを削除

自動電源オフ機能

本機が使用されていない場合は1分間でスリープモード(電源オフ状態)になります。どれかのボタンを押すと復帰します。

電池残量表示

電池の残量が少なくなった時は、メモリ上のメッセージファイルを保護するためLCDに“ ”が表示され、これ以上録音できなくなります。

3.その他の特徴

(1) 外部マイクによる録音

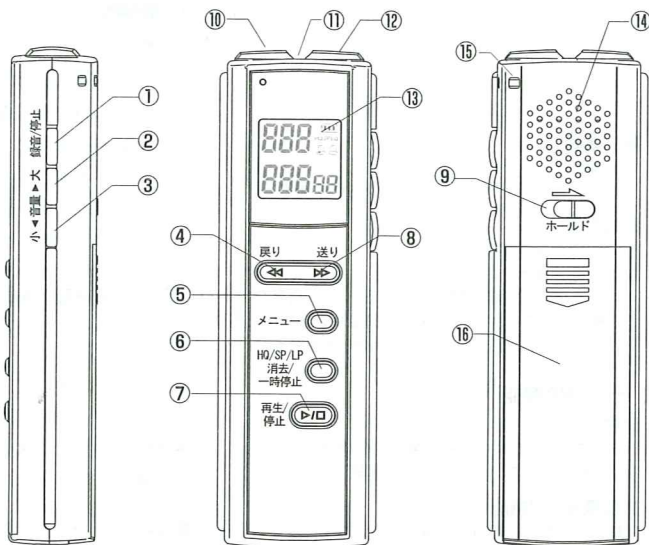
(2) イヤホンや外部スピーカーへの出力

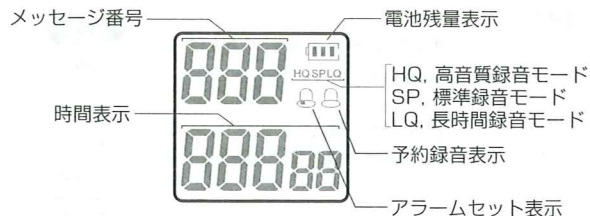
(3) デジタル式音量調整

(4) 再生中に早送り、巻き戻し

(5) メッセージ番号、録音時間、録音モードをLCDに表示

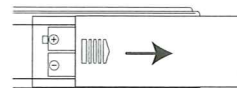
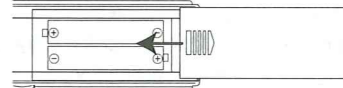
■ 各部の名称

【右面】　【正面】　【背面】

① 録音/停止ボタン
② 音調調節(大)ボタン
③ 音調調節(小)ボタン
④ 早戻し/戻りボタン
⑤ メニューボタン
⑥ 録音品質設定/消去/一時停止ボタン
⑦ 再生/停止ボタン
⑧ 早送り/送りボタン
⑨ ホールドスイッチ
⑩ マイク端子
⑪ 内蔵マイク
⑫ イヤホン端子
⑬ 液晶ディスプレイ
⑭ スピーカー
⑮ ストラップ穴
⑯ 電池ケース

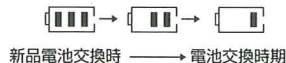
■ 液晶ディスプレイの表示

■ 乾電池のセット方法

電池の交換は、電源が切れた状態で行い、2本とも新しい電池に交換してください。

＋／－の向きを正しく入れてください。
新しい電池に交換しても動作しないときには、＋－の向きが正しいかご確認ください。

1.乾電池カバーを押しながら矢印方向にスライドさせます。

2.単4アルカリ電池を2個入れて乾電池カバーを閉めます。

電池の残量表示

電池交換時期になると右図のように液晶画面に表示されます。
この表示になると,録音スタートできなくなります。

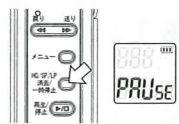
新品電池交換時 ——→ 電池交換時期

■ 操作方法

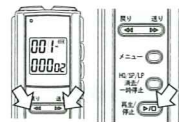
(1) 録音する

○マイクを音源に向けて“録音停止ボタン”を約2秒間押すと録音が開始されます。

○録音ランプが点灯したときに録音が開始され、LCDには現在のメッセージ番号と録音時間、録音モードが表示されます。

○録音中に“一時停止ボタン”を押すと 録音が一時停止します。時間表示が“PAUSE”になり点滅します。もう1度“一時停止ボタン”を 押すと録音が継続されます。“録音停止ボタン”を押 すと録音が停止します。

電池交換時期になると右図のように液晶画面に表示されます。
この表示になると、録音スタートできなくなります。

(2) 再生する（再生/一時停止/停止）

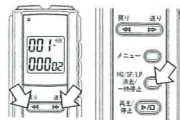
“送り/戻りボタン”でメッセージ番号を選択後、“再生/停止ボタン”を押すと、選択したメッセージが再生されます。もう一度“再生/停止ボタン”を押すと再生が停止します。再生中“一時停止ボタン”を押した場合には、一時停止します。そのボタンをもう1度押すと復帰します。

■ 操作方法

(3) メッセージの消去

※現在のメッセージの消去

本機が停止状態でメッセージ番号を選択して“消去ボタン”を2秒間押すとLCDに“ERASE”が点滅すると同時にそのメッセージが再生されます。DELボタンを再度押すとそのメッセージは消去されます。その他のボタンを押すと消去モードから抜けます。

※すべてのメッセージの消去

本機が停止状態でメッセージ番号を選択して“消去ボタン”を2秒間押すとLCDに“ERASE”が点滅すると同時にそのメッセージが再生されます。“送り/戻りボタン”を押して”ALL　ERASE”を選び、再び“消去ボタン”を押すとすべてのメッセージが消去されます。その他のボタンを押すと消去モードから抜けます。

(4) 音量の調節

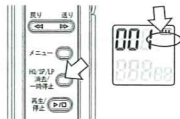
本機が停止状態か再生状態で“音量大ボタン”か“音量小ボタン”を押すと音量が増減します。
LCDには“VOL”と音量の数値が2秒間表示されます。

(5) 録音モードの選択

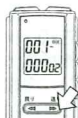
本機が停止状態の時、〔HQ,SP,LQ〕の録音モードを選択するために“消去/一時停止ボタン”を押します。“消去/一時停止ボタン”を押し続けるとHQ、SP、LQが切り替わります。選んだモードはLCD上に表示されます。

※3つの録音モードの録音時間

HQ	90分
SP	320分
LQ	440分

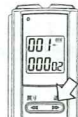
（録音モードを選択しなかった場合には“HQ”モードになります）

■ 操作方法

(6) メッセージの早送り、巻き戻し

メッセージを再生中に早送りのために“送りボタン”巻戻しのためには“戻りボタン”を押し続けます。

(7) メッセージの選択

本機が停止状態の時、次のメッセージに飛ぶためには“送りボタン”を押し、前のメッセージに飛ぶためには“戻りボタン”を押します。LCDには録音時間とメッセージ番号が表示されます。同時に録音モードのHQかSPかLQが点滅します。

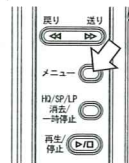
(8) 録音中のメッセージ追加

録音するメッセージが非常に長時間に渡る場合には、録音中に“送りボタン”を押して新しいメッセージ番号をデータに付けることができます。

(9) ホールド機能

ホールドスイッチをオンに切替えるとLCD上に“HOLD”が2秒間表示されます。ホールドスイッチをオフにするとロックが解除されます。ホールドモードになっている状態ではその他の操作は機能しません。

■ メニューからの機能設定

本機が停止状態の時、“メニューボタン”を1回押して機能設定に入ります。
“メニューボタン”を押すたびに次のように切り替わります。

録音時間の残量表示
↓
時計セット
↓
タイマー予約録音時刻のセット
↓
アラーム時刻のセット
↓
VOS設定（自動音声録音）
↓
SCOPE設定（マイク感度切換え）
↓
NOISE設定（バックグラウンドノイズ低減機能）
↓
停止状態

(1) 録音時間の残量表示

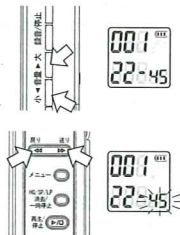
録音前には、録音時間の残量が充分であるかどうかを知ることが必要です。本機が停止状態の時、“メニューボタン”を押すと現在の録音モードでの残り時間がLCDに表示されます。

(2) 時刻設定

本機が停止状態の時、“メニューボタン”を2回押すとLCD表示の時間が点滅します。

“音量大ボタン”を1回押すと1時間加わり、“音量小ボタン”を1回押すと1時間引かれます。これらのボタンで合わせたい時刻に調整してください。(時刻は24時間表示)

時間設定の後、“送りボタン”か“戻りボタン”を押すと分設定に入り、分表示が点滅します。“音量大ボタン”か“音量小ボタン”押して分を調整してください。

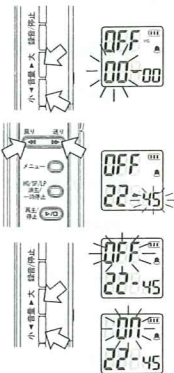
“メニューボタン”を押して確定になり、次の予約録音時刻の設定に入ります。

■ メニューからの機能設定

(3) タイマー予約録音時刻の設定

○本機が停止状態の時、"メニューボタン" を3回押すと予約録音時刻の設定に入り、LCD表示の時間が点滅します。

○ "音量大ボタン" を1回押すと1時間加わり、"音量小ボタン" を1回押すと1時間引かれます。これらのボタンで合わせたい時刻に調整してください。(時刻は24時間制)

○時間設定の後、"送りボタン" か "戻りボタン" を押すと分設定に入り、分表示が点滅します。"音量大ボタン" か "音量小ボタン" を押して分を調整してください。

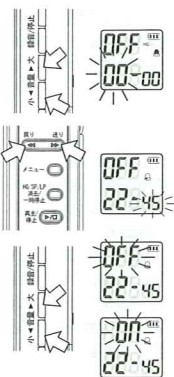
○分設定の後、"送りボタン" か "戻りボタン" を押してオン／オフの調整に入り、"音量大ボタン" か "音量小ボタン" を押して選択してください。 "メニューボタン" を押して確定になり、次のアラーム設定に入ります。

(4) アラーム設定

○本機が停止状態の時、"メニューボタン" を4回押すとアラーム設定入り、LCD表示の時間が点滅します。

○ "音量大ボタン" を1回押すと1時間加わり、"音量小ボタン" を1回押すと1時間引かれます。これらのボタンで合わせたい時刻に調整してください。(時刻は24時間制)

○時間設定の後、"送りボタン" か "戻りボタン" を押すと分設定に入り、分表示が点滅します。"音量大ボタン" か "音量小ボタン" を押して分を調整してください。

○分設定の後、"送りボタン" か "戻りボタン" を押してオン／オフの調整に入り、"音量大ボタン" か "音量小ボタン" を押して選択してください。

○ "メニューボタン" を押して確定になり、次のVOS設定に入ります。アラームをオンに設定した時は、設定時刻が来ると1分間アラーム音が鳴ります。いずれかのボタンを押すことでアラーム音を止めることができます。

■ メニューからの機能設定

(5) VOS設定

○静かな環境で使用する場合には、メモリを節約するためにVOSの設定を行うと効果的です。VOSを設定すると音が全くない状態で本機は自動的に一時停止状態になります。音がある時は、自動的に録音します。

○本機が停止状態の時、"メニューボタン" を5回押すとVOS設定に入ります。LCDの時間表示に "VOS" が表示されます。同時にメッセージ番号の部分に "OFF" か" ON "が表示されます。"音量大ボタン" か "音量小ボタン" を押して選ぶことができます。

○再び "メニューボタン" を押して確定となり、SCOPE設定に入ります。

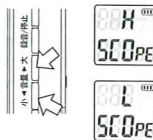
※メモ　VOS設定のON/OFFを選択しない場合には、"OFF" に設定されています。

(6) SCOPE設定 (マイク感度設定)

○音源との距離が近いか遠いかの設定をすることができます。

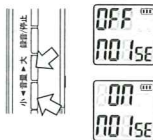
○本機が停止状態の時、"メニューボタン" を6回押すとSCOPE設定に入り、LCD表示の時間の部分に "SCOPE" が表示されます。同時にメッセージ番号の部分に "H" か "L" が表示されます。"音量大ボタン" か "音量小ボタン" を押して切替えることができます。

○再び "メニューボタン" を押して確定となり、NOISE設定に入ります。

※メモ　この機能を設定しない場合には、"L" モードとなります。
L：近距離での録音用　H：遠距離での録音用

(7) NOISE設定 (バックグラウンドノイズ低減機能)

○録音中で周囲にノイズが多い環境の場合、NOISEを設定するのが有効です。

○本機が停止状態の時、"メニューボタン" を6回押すとNOISE設定に入り、LCD表示の時間の部分に "NOISE" が表示されます。同時にメッセージ番号の部分に "OFF" か "ON。が表示されます。"音量大ボタン" か "音量小ボタン" を押して切替えることができます。再び "メニューボタン" を押して確定となります。

※メモ　この機能を設定しない場合には、"OFF" モードとなります。

■ 外部機器との接続

本機から外部機器への録音や外部機器から本機への録音は、添付のオーディオケーブルを使用すると便利です。添付のオーディオケーブルは、ステレオ－モノラル変換となっており、両端が赤と黒に色分けされています。（モノラル機器同士の接続も可能です）このケーブルを方向を間違えて使用するとステレオ機器からモノラル機器への録音する際に片チャンネルの音声しか録音されない現象が起こります。また、ヘッドフォン出力からマイク端子への録音を容易に行うことができるようにレベルを調整してあります。その他の入出力端子を使用した場合には、録音レベルが合わないなどの現象が起こりますのでご注意ください。

外部機器との接続は以下のように行ってください。

(1) 他の機器からの録音

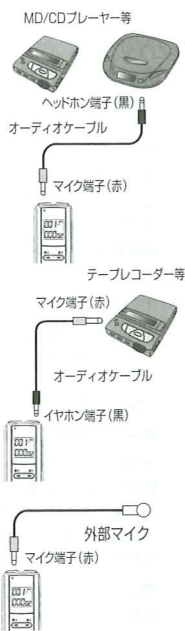
○外部機器の音量を適切に調整してください。オーディオケーブルの赤いプラグを本機のマイク端子に接続して、もう一方（黒いプラグ）を外部機器のイヤホン端子に接続してください。本機の録音/停止ボタンを押すと同時に外部機器の再生ボタンを押してください。（右図参照）

※ 録音の失敗を避けるためには、事前にテストが必要です。短時間の録音をして、外部機器の音量レベルを調整してください。

(2) 外部機器への録音

○本機の音量を適切に調整してください。オーディオケーブルの赤いプラグを外部機器のマイク端子に接続して、もう一方（黒いプラグ）を本機のイヤホン端子に接続してください。外部機器の録音ボタンを押すと同時に本機の再生/停止ボタンを押してください。（右図参照）

(3) 外部マイクによる録音

外部マイクを装着した時は、本体内蔵マイクは機能しません。

■ その他

(1) メモリがいっぱいになった時は、それ以上録音できなくなり、LCDには "FULL" の表示が出ます。その場合は、不要なメッセージを消去して、メモリ容量を確保してください。

(2) トータルのメッセージ番号が127になった時は、それ以上録音できなくなり、LCDには "FULL" の表示が出ます。

■ ご注意

※本機を落としたり、強いショックを与えると壊れることがあります。

※本機を60℃以上の温度や-10℃以下の温度にさらさないようにしてください。

※極端な高温や直射日光さらさないでください。

※風呂場など高湿度の環境に置くことは避けてください。

※ホコリが多いところに置くことは避けてください。

※LCDに強い圧力をかけると壊れることがあります。

※本機の不適当な使用によって発生したいかなる損害も責任を持ちません。

※通常の使用状態やその他のアクシデントによるデータの消失などによって生じたいかなる損害に対して責任は持ちません。

■ 主な仕様

フラッシュメモリ		16MB
録音時間	HQモード	90 分以上
	SPモード	320 分以上
	LPモード	440 分以上
メッセージ番号		最大 127件
出　力		最大80 mW/32Ω
動作温度		0℃～40℃
使用電池		アルカリ単四乾電池　2本
電池寿命		6 ～12 時間
周波数特性		500 Hz～3500Hz
歪　率		10 %以下
録音ソース		内蔵マイク、外部マイク端子
付属品		イヤホン、オーディオケーブル、取扱説明書、テスト乾電池